

鏡は太郎の心を映します

『僕の顔、笑ってる…僕の心も笑っています。』

文部科学省選定

純真な子供たちに
同和問題を正しく理解し
差別といじめのない
明るい社会を——
願っています。



〈カラー作品〉
人権啓発ドラマ

太郎のかがみ

企画 / 和歌山県同和委員会



長門裕之	正司	中塚和江	武井三代	安田吉	波川栄二	重松聖子	中脇しおり	菊藤倫貴	佐藤勇貴	木村早苗	林早苗	目黒祐樹	甲斐智枝美
------	----	------	------	-----	------	------	-------	------	------	------	-----	------	-------

製作 / 八頭司 享

監督 / 黒田 義之 脚本 / 石村嘉子 音楽 / クニ河内

プロデューサー / 菅田 浩 撮影 / 羽田辰治 照明 / 畑下降憲 録音 / 田辺美歌 編集 / 藤原公司 記録 / 重信美香

制作 / 共和教育映画社

製作協力 / 映画村エンタープライズ 東映太秦映像(株)



「太郎のががみ」主題歌

作詞 八頭司 享

作曲・唄 クニ 河内

あした
明日へ！

① 今日も降ります 冷たい雨が
濡れた背中に 降りかかる
雲のきれいまの 夕焼けが
明日の願いを 映してくれる
ハードル越えて 希望に燃えて
一歩一歩 あゆみます
あしたはきこ 晴れるでしょう

② 哀しい時でも 見せない涙
心で泣きます おもひっきり
涙の中の ゆくもじが
明日の幸せ 聴ってくれる
ハードル越えて 希望に燃えて

『友達なんかもういらない。学校なんか行くものか』

その思いは、翌朝、登校してはっきりとする。太郎が心の拠り所としていた花壇が荒らされ、しかもその疑いは太郎に向けられた。クラスの皆の目は冷たく、太郎は幾重にも傷付いて逃げ帰る。

そして太郎は学校を休んだ。

橋本先生は登校してこなくなった太郎を思い、心が痛み、自分の指導の甘さに悩み、校長先生に相談する。校長先生は、はっきりと太郎の障害を子供達にも知らせるべきだと助言する。

一太郎は障害児であったのだ一

出産の折り、頭に受けた傷でそうなった。

障害児学級の無い紀泉小学校に太郎が転校してくると知った時、望んで太郎を自分の学級に入れたのは橋本先生自身であった。

橋本先生は同和地区に育ち、様々な差別を受けてきた。だからという思いがあったのだ。またそれゆえに太郎の病気を子供達に話せないでいたのである。

折しも折り、クラスの母親から太郎の件で苦情を受けた。太郎に肩入れするのは先生が同和の生まれだからじゃ無いかとまで言われ、橋本先生は思い余って太郎の転校前の担任・木戸先生に会いに行く。

橋本先生は木戸先生から、太郎の叫びを書いた手紙を見せられ、大切にしていた『魔法の鏡』を太郎が割ってしまったと、母親から連絡を受けた事も知らされた。

木戸先生は、太郎の鏡の秘密を語る。

「鏡は太郎の心を写します、太郎は皆の心を写します。太郎が笑顔で暮らせるように、太郎も努力し、周りの人も太郎を認めてやって欲しかったのだ」と…。

橋本先生は、翌日、子供達に自分の生い立ちと、太郎の障害のことを話した。

様々な身近な差別を語りあううちに、子供達は太郎を差別していた事を知る。

そして花壇を荒らしたクラスの武と明の告白もあり、子供達は反省し、太郎宛ての手紙を書く。

近くある水泳大会の選手に出てほしいと、太郎を学級に呼び寄せる為に、願いを込めて書いたのだ。

数日後、屈託なく校門に入って来る太郎。出迎えるクラスの子供達が喚声を上げて太郎を囲む。

花壇を荒らした武と明が太郎の手を取って謝り泣いた。太郎の目からも涙があふれていた。

割れるような応援を受けて、太郎が水泳大会で頑張ったのは言うまでもない。

また、文句を言っていたクラスの母親たちも「父母学級」で同和問題を学び、自分たちのまちがいに気が付き橋本先生に謝った。

橋本先生は、太郎に子どもの頃使っていた鏡をプレゼントした。その鏡に太郎の笑顔がよみがえった。



映画の視点

- 学校教育のなかで、低学年から、人間の尊厳を機軸に、人間の生き方を正しく教えていくことが、同和問題を解決するうえで、いかに重要な条件であるか、この映画をとおして、学習を深めてください。
- 障害者に対する問題をとおして、現在社会に実在するもろもろの人権侵害と、部落差別とのかかわりとちがいを、この映画をとおして、学習を深めてください。
- 家庭における同和教育、地域社会における同和研修と学校における同和教育を、いかに系統的に進めていくべきか、この映画をとおして、学習を深めてください。
- 差別に対する厳しさを、自らの課題として受け止めることが、社会連帯意識を培い、美しい人間愛を育てていくということ、関係地区出身の「愛子先生」の姿をとおして、学習を深めてください。
- 純真な子どもたちの心に「差別心」が芽生えてくる過程と、学習会等に参加しない大人たちとの因果関係を、この映画をとおして、学習を深めてください。
- 同和問題を正しく理解・認識させていくうえで、指導者の姿勢ならびに行動が、いかに大切であるか、この映画をとおして、学習を深めてください。



上映時間 56分 ¥ 200,000

共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路 6-4-111

延原倉庫 淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255